

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 5月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年に2回(日中想定1回・夜間想定1回)、隣接する特養の協力も得て、グループホーム独自の避難訓練を行っているが、22年3月の北海道のグループホーム火災を踏まえて、避難することが利用者の方・職員と共に更に徹底できるように取り組んでいく必要がある。	従来の避難訓練に加えて、月1回避難訓練を行う。隣接する特養との協力体制の更なる強化を図る。	従来通り年2回の避難訓練に加えて、月1回は火災報知機等を使用した大掛かりなものではないが、避難訓練を実施する。その中の2か月に1回は隣接する特養の協力も得て、協力体制の強化を図る。	3ヶ月
2	13	職員一人一人に適したと考えられる、法人内外の研修や隣接する特養での介護研修、華の家内の研修に参加し、学びを深めているが、研修の計画的な実施を十分に行うことができなかった。	計画的な研修を行い、認知症を中心とした知識だけでなく、様々な介護における知識を身につけ、日常の業務に活かして介護の質の向上を目指す。	白島荘の在宅事業部門で計画されている研修会に職員が参加し、必要な知識を身につけ、伝達研修等を通してグループホーム全体の介護の質の向上を図る。	1ヶ月
3	1	理念について、今年度は口頭にて各職員に意見を募り、まとめたものとなったが、職員全員が理念を共有し実践していくためにも、今後は職員全員が理念づくりに関わるように取り組んでいきたい。	職員全員が来年度の理念作成に関わる。	来年度の理念を作成する際には全職員に書面にて意見を聞き、まとめたものを理念とし、共通の認識をもって実践にあたるようにする。	9ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。